

第1回会議における質問事項と回答について

資料1

委員名	質問事項	回答の概要
菊地委員	○ 栃木県では農業系の廃棄物の量が多く、他の4県とは状況が異なる。栃木県において評価項目における「指定廃棄物の保管状況」の重み付けを1/2とした経緯はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、栃木県においては、農業系廃棄物の量の比率は大きい。 ・このような状況を踏まえ、市町村長会議において、評価項目の重み付けについてもご議論いただき、結果として「指定廃棄物の保管状況」の重み付けは1/2とすることで、ご理解いただいたもの。 ・なお、各県における市町村長会議での御意見を踏まえ、宮城県では指定廃棄物の保管状況については考慮しないこととし、千葉県では4つの評価項目の重み付けは均等としている。
柿井委員	○ 評価項目にアクセス性等の建設上の項目を入れなかった理由は。	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細調査を行う候補地の選定段階では、まずは安全の観点から評価することとし、その後、アクセス性も含め施工・設置が可能かどうかについて、詳細調査の中で確認することとしている。
	○ 処理施設の設置に必要な面積は2.8haとしているが、残置森林等を含んだ余裕をもった面積が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地周辺は国有地の林地であり、残置森林等の確保については、十分可能であると考えている。
	○ 5段階の評価ではなく、もっと細かく評価すべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設を設置する各県において基本とする候補地の選定手法については、国が専門家からのご意見を踏まえ原案を作成。その中において、評価は5段階によることとしており、栃木県における市町村長会議においても5段階評価をご提示し、ご理解いただいで確定したのもの。
河邊委員	○ 埋立対象物及び仮設焼却施設で焼却する対象物の放射性物質の濃度は。	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立対象となる指定廃棄物について、その内、80%が1万～5万Bq/kg、10%が1万以下、残り10%が5万以上となっている。 ・仮設焼却施設での焼却対象物については、農林系副産物の稲わら等で約5,000トン。そのうち4,000トンが1万～3万Bq/kg。
藤原委員	○ 相関性が高い評価項目（例えば、生活空間との近接状況と自然度）が、並列に評価項目としているのはふさわしくないのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、生活空間との近接状況と自然度については、負の相関関係があるが、そうした関係性も含め、評価項目について議論いただいた結果、今の4項目となったもの。
西村委員	○ 地下水を水源として捉えた場合、の水利点の全体を正確に調査することは難しい。地下水の動向などの調査計画はどのようになっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水を水道水源としている場合は、水源として評価対象としているが、個人の井戸等については、今後の詳細調査の中で把握することとしている。 ・なお、地下水については、今後の詳細調査の中で詳しく調査していく予定。
	○ ベントナイト混合土の設計指標等は検討しているか。ベントナイトの膨張圧による施設への影響や地震動とベントナイトの遮水性など、学術的見解は十分ではないのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは処理施設をコンクリートの二重構造とすることにより水を遮断・遮へいする。さらに、止水性のあるベントナイト混合土の遮断層の設置を検討しているところ。ご指摘は詳細設計の際に参考にさせていただく。
夏秋委員	○ 焼却した場合、放射性物質の濃度が10倍になるため、管理する期間の長期化する。今後何年の保管が必要になると考えているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却することにより、放射性物質の濃度が上がらないよう、濃度の低いものとの混焼するなど、焼却灰の放射性物質の濃度については、十分コントロールしていきたいと考えている。
	○ 詳細調査の評価基準はあるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容を盛り込んだ詳細調査の計画書（設計書）については、現在検討中。
	○ 処理施設を設置することによる地形の変化についてどう考えているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の開発要領などを十分考慮しながら進めていく。
堀委員	○ 今回詳細調査を行う候補地以外の候補地（1～4）の位置図を提供してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の位置図を用意させていただく。
	○ 前回と今回の候補地の位置関係を示してほしい。	
	○ 今回の候補地について、前回の評価では相対的に劣るとされていた項目について、今回の評価ではどのように評価したのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、「沢沿いで地下水は浅いと推察される」といった項目については、詳細調査を行い、その結果を踏まえて必要な対策が可能であり、候補地の選定段階では除外する必要はないと判断。
	○ 今回の候補地がどのような経緯で平らな地形となったのか調査する必要があると考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細調査において、地盤地質等の調査をしっかり行う。
鈴木委員	○ 施設の安全性や飛散があるかないかなどについて、一般の方々、地域住民の方々も理解しやすいような、場合によってはビデオを使うなど、わかりやすい資料を用意していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい資料を用意させていただく。